

報道資料

令和4年2月22日(火)

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:大西・野坂

電話:0742-27-8653(ダイヤルイン)内線:3110、3111

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について

（近畿大学奈良病院第2報(最終報)）

近畿大学奈良病院において、入院患者 13 名、退院済み患者1名、入院患者の付添の方1名、職員9名 計 24 名の感染が判明しました。感染状況からクラスターが発生したと考えられます。

感染拡大の原因は、職員及び患者の感染防御が不十分であったためと推定しています。

当該医療機関では、職員への PPE(個人用防護具)や手指消毒の徹底及び入院患者への感染防御策(手指消毒、室内の換気、マスク着用)の徹底などの再発防止策を講じたところです。

また、病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、当該医療機関における院内感染事案は終結し、本日(2月22日)から、近畿大学奈良病院はすべての病院機能を再開します。

1 発生場所

近畿大学奈良病院（所在地 生駒市乙田町1248番1）

2 感染者の概要(合計 24 名)

・経緯:入院病棟A 2月3日に1例目の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から 23 例の感染を確認。

・感染者内訳:入院患者 13 名、退院済み患者1名、入院患者の付添の方1名、職員9名
(男性 12 名、女性 12 名)

20 代 5 名、30 代 1 名、40 代 3 名、50 代 1 名、70 代 2 名、80 代 11 名、90 代 1 名

<内訳>

	入院病棟A
入院患者	13 名
退院済み患者	1 名
入院患者の付添の方	1 名
看護師	7 名
リハビリテーション 医療技術者	2 名
合計	24 名

※第1報(令和4年2月8日)以降、新たに入院患者7名、職員5名の感染が判明しています。

3 県の対応

・入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示

4 病院の対応(2月22日10時時点)

・関係箇所の消毒実施

・病棟Aの入院を休止(2月3日～2月21日)

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。